

## 学校祭を終えて ～地域とともに学び合う2日間～

9月12日・13日の2日間、本校では看護学科・作業療法学科・理学療法学科の3学科が協力して、今年度の学校祭を開催しました。学生たちが中心となって企画・準備・運営までを行い、学内の交流を深めるとともに、地域の皆さまとのつながりを広げる貴重な機会となりました。

初日の12日は、学内でのスポーツ対抗戦を実施しました(組み写真1)。学科や学年の枠をこえて8チームに分かれ、さまざまな競技に挑戦しました。チームで力を合わせる中で、自然と笑顔や声援が生まれ、お互いを思いやる気持ちや協力する大切さを実感できた一日となりました。学生同士の絆が一段と深まり、学科間の壁を越えた温かな交流が見られました。



組み写真1:スポーツイベントを楽しむ学生たち

2日目の13日は、地域の皆さまに一般開放を行い、健康相談コーナーや体験ブース、学生による展示やミニイベントなどを通して、市民の方々と交流しました(組み写真2)。小さなお子さまからご高齢の方まで幅広い世代の方々にご来場いただき、学生は地域の方々とふれあう喜びを感じながら、コミュニケーション能力や社会性を育む貴重な学びを得ることができました。地域の皆さまの温かい応援や笑顔が、学生の大きな励みとなりました。

学校祭の準備期間には、学生実行委員を中心に何度も話し合いを重ねました。意見を出し合い、協力して企画を形にしていく過程は、将来、医療や福祉の現場で必要となる計画力やチームワークを身につける良い経験となりました。3学科が連携して

取り組む姿勢の中には、チーム医療の基礎となる協働の精神がしっかりと息づいていました。



組み写真2：一般開放日における学生たちの様子

こうして、今年度の学校祭は多くの方々のご協力に支えられ、無事に成功裏に終わることができました。学生たちは、仲間と協力する楽しさ、地域とつながる大切さを改めて感じたことでしょう。本校ではこれからも、地域貢献を重視した教育活動を通じて、社会に貢献できる医療専門職の育成を目指してまいります。

組み写真3は、全員の集合写真を撮影いたしましたものです。



組み写真3：学祭終了後の集合写真